

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.811
2018.10.7

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

山崎 あきら	久保 みき
神田よしゆき	もりや千津子
戸島 よし子	松村 としお
とりうみ敏行	大木 学



「住民福祉の増進」 自治体の役割果たせ 心身障害者医療費支援カットやめよ

いよう要望書を提出している」と述べ、同制度の「所得制限導入をやめるべき」とうったえました。

さらに、本庁舎移転の調査業務に2700万円使う補正予算もふくまれています。松村市議は「現庁舎は耐震化工事もすすめられ、庁舎移転の必要性がない。不要・不急かつ数百億円の費用が見込まれる庁舎移転の検討に税金を使うのはムダ」と厳しく指摘。そのうえで、「巨額の公共事業を次々と計画する一方で、障害者施策をはじめさまざまな福祉制度を次々削減している。住民福祉の増進という地方自治体の本来の役割から大きく逸脱している。このままでは将来世代へ借金を負わせながら福祉・教育制度はボロボロというのがさいたま市の未来の姿になってしまう。本来の地方自治体の役割を果たす行政に転換することを強く求める」と主張しました。

採決では党市議団などが補正予算に反対しましたが、賛成多数で可決されました。

補正予算討論

9月25日、9月議会の予算委員会が開かれ、補正予算の討論と採決がおこなわれました。討論にたった松村としお市議は、今度の補正予算に「心身障害者医療費支給事業に所得制限導入のためのシステム改修が含まれている。所得制限の影響を受ける障害者は700人、毎年新規で約50人が制度から外される。この制度は障害者が命や健康を維持し、障害を悪化させないために、安心して医療が受けられるようにするためのもの。2015年の年齢制限と今回の所得制限で5億円近い負担を障害者に負わせることになる。障害者権利条約、ノーマライゼーション条例に反する行為だ。障害者団体も市に所得制限をしな

報告する神田市議(左)



高すぎる水道料金 引き下げはできる

さいたま市政を考える シンポジウム

9月23日、「さいたま市政を考えるシンポジウム」が同実行委員会主催で開かれました。さいたま市政の各分野で問題提起をおこなうもので、シンポジストとして党市議団から神田よしゆき市議が水道料金の引き下げについて報告しました。

神田市議は、党市議団が水道料金の引き下げを提起した理由について、市民アンケートに税金や公共料金などの負担軽減を求める声が多く寄せられたことをあげました。さいたま市の水道料金は県内の他自治体と比べても高く、その原因は人口増と開発の推進で、給

水量を伸ばすために設備投資に莫大な資金が投入されたことにあると指摘しました。そして、現在の給水量はここ10年近くにわたって横ばいであり、老朽管の更新など維持管理の費用を差し引いても毎年大きな黒字を出していること、給水量拡大前提の水道会計の在り方を見直していけば、大幅な引き下げができることを明らかにしました。

シンポジウムでは、岩見良太郎氏(埼玉大学名誉教授)がさいたま市の開発問題について報告。「九条俳句掲載拒否問題」「小学校道徳教科書採択問題」についても特別報告がされました。

「(仮称)さいたま市パートナーシップ宣誓制度」へのご意見をお寄せ下さい

先の6月議会で、さいたま市でも同性カップルのパートナーシップ認証制度を創設するよう求める請願が出され、全会派の賛成で採択されました。

これを受け、市は来年度の制度創設に向

けて動きはじめています。当事者のみなさんの願いに沿う制度にしていくためにも、ぜひ意見をお寄せ下さい。意見募集は10月1日～10月31日までです。

くわしくはさいたま市のホームページをごらんください

<http://www.city.saitama.jp/006/010/006/001/p061371.html>

議案外質問 (9月18日・19日)

文教

尾間木公民館駐車場 30台拡張へ

文教委員会で松村としお市議が議案外質問をおこないました。松村市議は昨年9月議会でも尾間木公民館駐車場の拡張を求めましたが、今回の質問で見通しが示されました。

松村 尾間木公民館駐車場について、その後



の進捗状況は。
市教委 今年8月に駐車場用地を確保した。今後、設計、工事をして整備をすすめるが、仮設で年内の利用をめざして準備を進めている。

松村 台数はどれくらいか。
市教委 暫定で30台程度で考えている。
また松村市議は、子どもの通学荷物が重すぎることから独自調査もして6月議会で改

保健福祉

生活困窮者に 寄り添った支援を



保健福祉委員会の議案外質問で、久保みき市議は無料低額宿泊所について質しました。

市内には法に基づく届け出無料低額宿泊所が18施設あります。久保市議は、南区の福祉事務所の相談室に、大規模管理型の2施設の面接記録表が置いてある実態を告発し、市からのあっせ

んと受け取られかねないと厳しく追及しました。市は「速やかに撤去するよう指導した」と答弁しました。

また、有資格者の巡回等きめ細やかな支援をおこなう小規模施設にとって、市のガイドライン（開設前に地域住民の合意を得たことが分かる書類の提出など）が厳しすぎる問題について、市は「横浜市や川崎市では近隣住民等と協定等を締結するという条項もある。本市が特段厳しいわけではない」と答弁しました。久保市議は厳しすぎる規定によって、民間団体の支援活動に支障が出ないように、国や県と同等の規定にすべきだと主張しました。

また、無料低額宿泊所は一時的な生活の場であり、安定した居宅生活へ移行できるようにねい転居支援を求めました。

善を求めましたが、「教科書は原則持ち帰り」という答弁でした。9月に文部科学省がこの問題で連絡文書を出したことをふまえ、あらためて質問しました。

松村 教科書の一部を学校に置いて帰ることはあり得るか。

市教委 教科書は原則持ち帰りだが、家庭学習に影響が出ないものは学校で約束を決めたうえであり得ると考える。
松村市議は現場の判断を尊重するよう念を押ししました。

市民生活

すべての窓口業務を 区役所で



市民生活委員会の議案外質問で、神田よしゆき市議は区役所業務の拡充について質問しました。

神田 区役所業務と区長権限の拡充について、すべての窓口業務をおこなえるという点でどのようにとくまれたのか。もう一点は、区役所業務の拡大を図るため、まず、くらしの道路やスマイルロードの申請工事の実施、都市

下水路の整備や管理をできるように検討するべき。

市 区役所業務・区長権限の拡充については、2012年度に45業務、2013年には区長の予算要求権限、組織編制、人事の発案権を付与した。今後の拡充の方向については、本庁で進めるものと区役所ですすめるものとに分け、協議中である。区役所が自らの権限と責任で区政運営をおこなう、住民の利便性を最優先にサービス向上にとりくみたい。

神田市議は、答弁を踏まえて「基本的にすべての窓口業務を区役所で行える」ようにする点を確認し、区役所業務の拡大を求めました。神田市議はそのほかに、区役所が雇用する臨時職員の処遇改善等について質問しました。

あなたの身近な議員です



市議(中央区) 市議(北区) 市議(見沼区) 市議(浦和区) 市議(桜区) 市議(南区) 市議(緑区) 市議(岩槻区)
山崎あきら 神田よしゆき 戸島よし子 とりうみ敏行 久保みき もりや千津子 松村としお 大木学